

研究構想図

学校教育目標

- ◎よく考え工夫する子ども ◎仲よく助け合う子ども
○よく働き責任をもつ子ども ○きまりを守り礼儀正しい子ども ○健康でねばり強い子ども

研究の背景

開校150周年を迎える本校のよさに関心を持ち、周年行事を含めた様々な場面を通して、探究活動や表現活動を行うことで、学校や地域への愛着を深めるとともに、自己の生き方を考えることにつなげたい。そのため、総合的な学習の時間および生活科の学習単元の開発を行う。

児童・教員の実態

- ・児童は、体験学習や調べ学習に意欲的に取り組んでいる。ただ、児童が主体的に学習課題を見付けたり、探究をしたりすることが十分にはできていない。
- ・地域とのつながりが希薄化している現状がある。地域の人や施設との関わりを増やしたい。

研究主題

児童の主体性を育てる授業の創造
～未来へつなぐ150周年単元の開発を通して～

研究仮説

- ① 児童が自ら課題を設定したり、振り返りを行ったりすることで主体的に学ぶ態度を育てることができるだろう。
- ② 地域の人や施設、歴史を知るための学びを深めることで、学校や地域への愛着を深めることにつながるだろう。

基礎研究

- ・新学習指導要領についての理解
- ・「主体性」の捉え方
- ・効果的な「課題設定」とは
- ・総合的な学習の時間と生活科の学習の関連
- ・地域とともにある学校の授業から学ぶ

研究の視点

授業実践をとおして、児童が主体的に学ぶための具体的な手立てを明らかにする。

- ① 探究したくなる単元構成の工夫
- ② 自らの考えを広げるための工夫
- ③ 学びの自覚化を図る課題設定や振り返りの工夫